令和３年度 年度報告書

仏向原ふれあい公園

１	様式１	年度利用料金収入実績
２	様式２	年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率（月別）
３	様式３	年度公園利用状況
４	様式４	業務の第三者委託実績
５	様式５	年度修繕実績
６	様式６	年度増減備品一覧
７	様式７	苦情対応報告、事故対応報告
８	様式８	市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進結果
９	様式９	収支報告書（指定管理料のみ）
１０	様式 １０	運営目標・実績報告
１１	様式 １１	自主事業実施報告
１２	様式 １２	利用者アンケート結果
１３	様式 １３	研修実施報告

横浜市指定管理者

夢を植える。未来を育む。Well future together
UEKI 横浜植木株式会社

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業報告書様式１）

１　年度利用料金収入実績

日　時	内　容	内　訳	利用料金収入計
2 月 26 日～3 月 22 日	分区園利用料金の徴収	12 ㎡（18,000 円）×36 区画	648,000 円
4 月 5 日	分区園利用料金の徴収	12 ㎡（18,000 円）×1 区画	18,000 円
5 月 6～14 日	分区園利用料金の徴収	12 ㎡(16,500 円)×4 区画(4 月分免除)	66,000 円
6 月 1～14 日	分区園利用料金の徴収	12 ㎡(15,000 円)×3 区画(4、5 月分免除)	45,000 円
7 月 15 日	分区園利用料金の徴収	12 ㎡(12,000 円)×1 区画(4～7 月分免除)	12,000 円
合計金額			789,000 円

（事業報告書様式２）

年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率（月別）

月別	分区園利用区画数	稼働率
4 月	37	82%
5 月	41	91%
6 月	44	98%
7 月	44	98%
8 月	45	100%
9 月	45	100%
10 月	45	100%
11 月	45	100%
12 月	45	100%
1 月	45	100%
2 月	45	100%
3 月	45	100%

（事業報告書様式３）

年度公園利用状況

月別	公園の利用人数	備考
4 月	21 名	ブロッコリー収穫体験 5 名　レタス植付け体験 8 名　散歩･遊びなど
5 月	44 名	機織りストラップ作り 7 名　レタス収穫体験 23 名　散歩・遊びなど
6 月	30 名	ジャガイモ収穫・玉ネギ収穫体験 20 名　散歩・遊びなど
7 月	9 名	散歩・遊びなど

８月	８名	散歩・遊びなど
９月	11 名	散歩・遊びなど
１０月	92 名	落花生収穫体験 40 名　サツマイモ収穫体験 38 名　散歩・遊びなど
１１月	51 名	サトイモ収穫体験 25 名　ショウガ収穫体験 14 名　散歩・遊びなど
１２月	14 名	散歩・遊びなど
１月	８名	散歩・遊びなど
２月	８名	散歩・遊びなど
３月	32 名	ジャガイモ植付け体験 14 名　散歩・遊びなど
年間合計	328 名	

※利用人数については、今年度より巡視日および職員来園日に来園者のカウントを開始しました。

（事業報告書様式４）

業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額	年回数	実施月日	評価	対応状況
植栽管理	草刈工　剪定工（斜面地）	㈱佐藤造園 1,663,000	３回	６月、９月、３月	◎	良
電気設備点検	電気設備保守点検	㈱平岡電機工事 57,000	１回	３月	◎	良
施設管理	廃棄物処分	リサイクルプラント 20,024	随時	通年	◎	良
コールセンター	夜間・緊急時・年末年始等対応	京浜警備保障㈱ 33,000	通年	通年	◎	良

（事業報告書様式５）

年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名または直営かの記載	対応状況
４月 29 日	遊具広場上法面	43,400 円	直営	遊具広場上法面に植栽
５月４日	〃	42,773 円	〃	遊具広場上法面に枝折戸設置
５月 18 日・６月８日	遊具広場	49,450 円	〃	遊具広場に植栽
１月 18 日	看板ポール	8,000 円	〃	塗装
１月 18 日・25 日	園内ベンチ	12,000 円	〃	保護剤塗布
２月１日・８日	〃	8,000 円	〃	保護剤塗布
合計		163,623 円		

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業報告書様式６）

年度増減備品一覧

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
なし							

（事業報告書様式７）

苦情対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	4月3日～6月8日	前年度3月31日からの継続案件（児童の隣接宅への侵入・花壇踏み荒らし）	ご本人への謝罪、フェンスネット張り、遊具広場上法面植栽、枝折戸設置、遊具広場植栽。その後、侵入・踏み荒らしはなくなりました。
2	6月22日	若者4名がエアガン（BB弾）及び模造刀を使用。	夜間パトロールの強化、警告文の掲示。その後、危険行為はなくなりました。
3	3月28日	草刈時、強風により隣接畑に刈草が飛散。野菜の植付けができないと苦情あり。	ご本人への謝罪、翌日から1週間刈草の除去作業、境界柵にネット張り、種や枯葉の飛散防止のための樹木剪定。その後、納得していただきました。

事故対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	なし		

（事業報告書様式８）

市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

・利用者ニーズの把握取組の考え方

利用者サービス向上の為、満足度把握とともに、利用者の多種多様な要望やニーズを把握しました。巡視日に利用者と直接コミュニケーションを取ることを最も重視しており、丁寧な対応を心がけ、利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりに取り組みました。分区園利用者は高齢者が多いため、休憩する場所が欲しいとの要望に応え、直ぐにベンチを設置するなど、ニーズを把握した際には積極的かつ迅速な対応で公園の利便性向上や魅力アップに努めました。

・満足度向上の取り組みの考え方

当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができる場があることです。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービス、分区園利用者以外の方々に向けた協働農園を活用した体験等、魅力を最大限発揮した事業に力を入れて取り組むことで、利用者満足度の向上を図りました。

・広報の考え方

農園付公園は、「分区園全区画を利用・運営する」ことが管理運営の中で大切です。来園者に分区園、公園の魅力を知って頂き、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報活動をしました。SNS では、見に行ってみたいなと思ってもらえるように、明るい雰囲気の写真を更新するように心がけ

ました。興味を持ってもらうことで、来園のきっかけをつくり、集客に繋げました。
当公園は、職員常駐の公園ではないことから、公園の掲示板や HP 等は来園者とのコミュニケーションツールとして丁寧に作成し、最新の情報を提供するように心掛け、またイベントの広報をする際には、当公園の規模で対応できる集客数を考慮し、広報手段を選択しました。事前に参加者を募るイベントでは、定員数、申込方法の記載について誰でも分かりやすい表記にしました。
また、ユニバーサルデザインの観点から、子どもから高齢者まで幅広い年代の方が分かりやすいよう文字の大きさやふりがな、イラストを使用した掲示物や瓦版の発行を行いました。
・公園運営改善策について
当公園は、今年度がまだ 3 年目と新しい公園です。まだまだ知名度を向上させる必要があり、公園利用者を増やすことが大切です。知名度を向上させる為、定期的にインスタグラムや、HP での公園情報の発信を行ってきました。さらに、近隣施設の仏向地域ケアプラザに加え、地域支援団体、子育て支援団体などとの会合に参加したことで繋がりができ、収穫体験などの開催を実施することができました。また、公園の情報発信にも協力していただける関係になりました。今後も地域の方と積極的に関わり、より知名度向上に努めていきます。

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業計画書様式９）

収支報告書（指定管理料のみ）　　（円単位）

科目 収入の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,806,166		7,806,166	7,806,166	0	
利用料金収入	930,000		930,000	789,000	141,000	
自主事業収入	120,500		120,500	56,950	63,550	
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	0		0	0	0	
収入合計	8,856,666		8,856,666	8,652,116	204,550	

科目 支出の部		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
人件費		3,578,500		**3,578,500**	**4,086,959**	**-508,459**	
	給与・賃金	3,040,600		3,040,600	3,444,959	-404,359	委託を減らし直営作業を増加
	社会保険料	496,000		496,000	516,000	-20,000	
	通勤手当	24,500		24,500	120,000	-95,500	
	健康診断費	17,400		17,400	6,000	11,400	
	勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
	退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費		1,714,694		**1,714,694**	**1,299,539**	**415,115**	
	旅費	110,000		110,000	45,391	87,567	
	消耗品費	877,694		877,694	927,980	-50,286	「不法行為警告」などの看板設置。安全管理として還元しました。
	会議賄い費	0		0	0	0	
	印刷製本費	0		0	0	0	
	使用料及び賃借料	0		0	0	0	
	（横浜市への支払い分）	0		0	0	0	
	（その他）	0		0	0	0	
	備品購入費	350,000		350,000	161,000	189,000	
	図書購入費	0		0	0	0	今年度更新無
	施設責任賠償保険	36,000		36,000	30,280	5,720	見積額
	職員等研修費	50,000		50,000	25,000	25,000	
	振込手数料	1,000		1,000	1,000	0	
	リース料	240,000		240,000	99,688	140,312	
	手数料	20,000		20,000	9,200	10,800	説明会切手代など
	地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	
自主事業費		120,500		120,500	56,950	63,550	
管理費総合計		**5,413,694**		**5,413,694**	**5,443,448**	**-6,796**	
光熱水費合計		260,000		260,000	248,437	11,563	市提案額
	光熱水費（電気）	113,000		113,000	90,700	22,300	
	光熱水費（ガス）	0		0	0	0	
	光熱水費（水道）	147,000		14,7000	157,737	-10,737	
	光熱水費（下水道）	0		0	0	0	
清掃費		460,000		460,000	250,000	210,000	
修繕費		150,000		150,000	163,623	-13,623	提案書額
機械警備費		132,000		132,000	0	0	
施設保全費		2,060,000		**2,060,000**	**1,773,024**	**386,976**	
	空調衛生設備保守	0		0	0	0	
	消防設備保守	0		0	0	0	
	電気設備保守	110,000		110,000	57,000	53,000	電気設備点検 5万7千円
	害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
	その他保全費・園地管理費	1,950,000		1,950,000	1,716,024	333,976	草刈・剪定166万3千円、コールセンター3万3千円、廃棄物処分2万24円
共益費（合築等の場合）		0		0	0	0	
公租公課		0		0	0	0	
	公租公課（事業所税）	0		0	0	0	

	公租公課（消費税）	0		0	0	0	
	公租公課（印紙税）	0		0	0	0	
	その他公租公課	0		0	0	0	
事務経費		380,972		**380,972**	**630,972**	**-250,000**	
	事務経費（本部分）	375,972		375,972	625,972	-250,000	勤怠システム導入
	事務経費（当該施設分）	5,000		5,000	5,000	0	利用者連絡員通信費
その他経費（当該公園分）		0		0	135,102	-135,102	HP 保守管理
支出合計		8,856,666		**8,856,666**	**8,644,606**	**212,060**	
差引		0		0	7,510	-7,510	

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	120,000			148,782		自動販売機
設置管理許可支出合計	42,520			44,860		電気代
差引	77,480			103,922		

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業報告書様式 10）

運営目標・実績報告

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	改善点等 今後の取組
業務運営１ （達成目標、運営業務の実施方針）	①分区園全区画利用 ②公園の知名度向上	①利用率 100% ②ふれあいイベント参加者 20 名以上	分区園（個人区画）利用率 100%を達成 イベント参加者延べ 194 名	達成	引き続き団体区画を稼働させるため、掲示・ポスティング・HP など広報活動に努めます。公園知名度を上げるため、町内会や地域活動団体と交流を深めます。
業務運営２ （利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	①分区園利用者以外の方の協働農園への来園 ②アンケートの満足度	② 月 5 名 ② 満足度 90%以上	平均 27 名。 満足度 93%	+22 名 +3% コロナ禍でもイベントを開催し、大勢の方に来園していただきました。	分区園利用者以外の方の協働農園への来園者を増やすために、気軽に参加できる収穫体験の数を増やします。また利用者満足度を上げるために、サービスの向上と分区園利用者との交流を深めます。
業務運営３ （人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応）	緊急時に対応できる柔軟な配置	施設長 1 名 副施設長 1 名 運営スタッフ（正規） 3 名 運営スタッフ（非正規）2 名以上 本部指定管理課職員 4 名 防災訓練の実施	左記人員通りに配置しました。 また常に本部職員が待機し、防災・災害対応に備えました。 公園での防災訓練はコロナ禍で出来ませんでしたが、月 1 回の職員ミーティング時に、緊急対応について講習を行いました。	上回った	引き続き複数の職員が運営に関わっていくことで、誰にとっても安心安全な公園運営に努めます。

人材育成 研修実施効果等	「利用者満足度向上」や「継続的利用」につながる体系的な研修と自己啓発環境の整備	接遇・障がい者対応研修、個人情報保護研修、施設長研修、広報研修、植栽維持管理研修、農業研修	（様式 13）の通りです	野菜作りの研修を毎月開催、安全運転研修を実施する等、レベルアップを図りました。	引き続き、農園付き公園の職員として必要な能力（お客様目線で考え、行動できる）を身に着けられる研修を行います。
維持管理１ （施設の保守管理、補修計画）	誰もが安全安心、清潔快適に利用していただけるよう、質の高い維持管理を行う。	横浜市策定「維持管理の手引き」「施設管理者点検マニュアル」や水準書に基づき、「施設年間管理表」「植物年間作業計画表」を作成し、安全の確保・美観の維持・施設の長寿命化・環境保全に配慮した維持管理に取組む。	水準書に則り作業を実施するだけでなく、巡視日以外も点検を行い、早期の不具合発見に努めました。	上回った	維持管理水準書に則った法定点検を随時実施し、誰もが安心安全に寛ぐことができる空間をつくります。
維持管理２ （清掃、園地維持管理、災害対応）	建築保全業務共通仕様書に基づき、点検・保守を行い、施設の長寿命化に努める。	維持管理水準以上の頻度できめ細かな点検および清掃を実施する。 ・春先の重点草刈り ・台風前の水路清掃 ・冬季の枯死木点検の実施	312 回清掃を行いました。園内の状況を見て、草の伸びが早い箇所は他エリアより回数を増やす等、水準書以上の管理となるように心がけました。	上回った	日常清掃に力を入れることで、建物や設備の維持管理を徹底し、いつも清潔な状態を保ちます。また、植栽管理にも力を入れます。

収支 修繕等、収入、支出)	各施設に関しては、耐用年数表と現場の状況に応じて、修繕計画表を作成し、利用者の安全と利便性確保を第一に修繕の要不要を判断し、計画的に修繕を行う。	施設の長寿命化の為、計画的に点検、修繕を行う。	遊具や施設関連の事故発生なし。 不法行為の抑止を行い、施設破損の防止にも努めました。	収支は（様式 9)の通り。 修繕は（様式 5)の通り。	修繕に関わる物品等について、購入前の価格調査を行い、強度や耐久年数等を検討した上で、適正な収支予算を立て運営します。また施設等の劣化状況を確認・監視し、補修や塗装を行います。
経費節減策	指定管理料縮減に努める。	・業務の繁閑に応じて効率的に人員を配置。地元雇用を行う。 ・直営作業を基本とし、委託費縮減に努める。 ・自社製品を活用してコスト縮減に努める。	夏場は人員を増やし、直営での草刈等の園内維持管理作業を中心に行いました。 協働農園の野菜は、自社製品を中心に、園内で必要な資材は取引先から安価で購入できる資材を活用しました。	上回った	今後も直営作業をすることで委託費縮減に努めます。また、取引先から安価に購入できる資材を活用します。 道具類は常に安定的に使えるよう丁寧な扱いをし、使用した後はこまめに手入れすることで、長寿命化に努めます。

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業報告書様式 11）

自主事業実施報告

事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・実施結果考察
作付け講習会	新年度が始まる前に、栽培相談員が作付け計画等について講義を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。	中止
栽培相談日	栽培相談員による現地での相談会を実施しました。分区園利用者が植付けから収穫まで成功できるよう丁寧にアドバイスしました。	4 月 10 日、5 月 8 日、6 月 12 日、7 月 10 日、8 月 14 日、9 月 11 日、10 月 9 日、11 月 13 日、12 月 11 日
栽培相談ノート	栽培相談日に来られない利用者のサポートを目的に倉庫内へ設置しています。利用者が栽培の悩みを記入し、翌巡視日に回答しました。	4 月～3 月常時設置
次は何を育てる？ ～全区画測定日～	野菜切替え時期に、全分区園を測定しました。結果を踏まえたアドバイスも行いました。	全区画測定（8 月）
酸度測定	希望する利用者の畑の酸度測定を行いました。 状況に合わせアドバイスも行いました。	4 月～3 月随時実施
菜園生活ガイドブック	初めて野菜作りをする利用者が、野菜作りの基礎を確かめられるように、季節の野菜の種類、植付け方法、マルチングの張り方等、分かりやすくまとめたものを倉庫内に設置しました。	4 月～3 月常設 菜園活動初心者向けに、巡視日以外の日の確認等に役立ててもらっています。
資材の無料提供	利用者に、より快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施しました。	4 月～3 月随時実施
資材の無料レンタル	利用者に、より快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施しました。	4 月～3 月随時実施
利用者オリジナル区画看板づくり	楽しい菜園生活を送ってもらうため、畑に愛着を持ってもらうことを目的に実施しました。	4 月～3 月常時（希望者）
温度計・湿度計の設置	熱中症等を防止する自己啓発を目的に、熱中症指数がわかるものを倉庫内に設置しました。	4 月～3 月随時実施
協働農園のふれあいイベント	分区園利用者以外でも身近に農と触れ合って貰い、農を普及することを目的に実施しました。	4 月 6 日、5 月 29 日 3 月 1 日
公園野菜のおいしいレシピの提案	農へ興味を持ってもらうため、旬の野菜を調理できるレシピの掲示や配布を行いました。	4 月～3 月倉庫棟内に野菜の保存法やレシピ本を常設。
緑のカーテン設置	CO2 削減と植物の生長観察、収穫体験のコーナーにすることを目的に設置しました。	5 月 25 日
維持管理発生材の利用	園内及び管理作業で活用し、ゴミを削減することを目的に実施しました。	4 月～3 月随時

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

プロの堆肥づくり	正しい堆肥づくりを行うことで、ゴミの削減、堆肥代の軽減に繋がり、分区園、協働農園、花壇作りに利用し、循環型農業を目指しました。	4 月～3 月随時 菜園活動のサポートにも繋がっています。
農の風景	昔懐かしい里山風景をつくり、居心地の良い公園にすることを目的に、倉庫棟付近にアサガオの鉢植えを置くなどして、のどかで懐かしい農家の軒先を彷彿させる風景づくりをしました。	4 月～3 月随時
花いっぱい活動	来園者に綺麗な園内で過ごしてもらうこと、四季を感じてもらうことを目的に実施しました。一年を通して常に季節の花を楽しめる空間づくりを行い、来園者のおもてなしをしました。	7 月 31 日、9 月 11 日 10 月 30 日、11 月 2､11､13､16､20 日、12 月 18 日
緑の補植	風景の保全・育成と来園者に四季を感じてもらうことを目的に山野草や宿根草等の補植を実施しました。	4 月～3 月
掲示物の作成	利用者とのコミュニケーションツールとして、掲示板の他にも園内に掲示を行いました。QR コードを活用し、HP との連携も行いました。	4 月～3 月随時 イベント情報の他、毒虫の注意喚起も行いました。
HP・SNS の活用	地域の方へ情報発信を行いました。来園しなくてもイベントなどの公園情報が分かり、より多くの方に知ってもらうよう心掛けました。	4 月～3 月随時更新
地域サポーター協力の呼びかけ	分区園利用者ではない方も含め、協働農園の管理や花壇の整備などを、気軽に幅広く有志でお手伝いしてくれる方を「地域サポーター」として位置付け、一緒に管理運営を行いました。	4 月～3 月随時 花植え、野菜植付け時等などのお手伝いをしていただきました。
収穫祭の開催	世代間交流の場とするため、地域の方々を対象とした収穫祭を実施しました。	4 月 1 日、6 月 5､10 日
無料配布	公園の協働農園などで収穫を迎えた野菜などを無料配布しました。	7 月 20､21､24､29 日、8 月 4､17 日、9 月 11 日、12 月 11 日、1 月 4 日、3 月 19 日
ベンチの設置	農体験ゾーンに休憩用ベンチを設置しました。	7 月 3 日
昔遊び倶楽部の開催	昔遊びを通して、子ども達の集団の中での協調性を育むと同時に、世代間交流を促す為に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。	中止
瓦版の発行	紙面で公園の出来事、野菜、季節の花などをまとめて掲示しました。	6 月 3 月
中太り大根を連想させるダイコンの栽培	仏向町は、中太り大根を導入し普及した歴史があるため、その頃を連想させるダイコン畑を作り、少し懐かしさを感じる空間を作りました。	9 月 15 日

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

公園で遊ぼう	子育て支援連絡会と協働して、園内で野菜の植付けや収穫等を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。	中止
季節の装飾	一年を通して季節の花で彩る演出を行いました。門松飾りは、他指定管理公園で採れた竹や、当公園の梅の枝を用いて製作しました。	12 月 25 日～1 月 9 日（門松飾り設置期間）
1 袋ごとの資材販売	重い堆肥等を現地まで運搬・販売しました。車で来園不可による運搬負担を軽減すると共に、資材運搬を理由とする路上駐車対策に繋がりました。	4 月から 3 月随時 42,550 円
耕運サービス	3 月の年 1 回の無料耕運のほか、夏野菜から秋冬野菜の切り替え時など希望者の畑の耕運を行いました。（個人 1,000 円/1 回・団体 2,000 円/回）	4 月から 3 月随時 3,000 円
和綿から糸を紡ごう	植物から糸が出来るまで一連の流れを体験するワークショップに向け、栽培から収穫まで実施しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為と、収穫量が少なかった為、その後は中止しました。	5 月 15 日 3,500 円
収穫イベント	協働農園で栽培した落花生、サツマイモ、サトイモ、ショウガの収穫イベントを開催しました。	10 月 23､30 日 11 月 6､27 日 6,500 円
ジャガイモ植付けイベント	協働農園でジャガイモの植付けイベントを開催しました。	3 月 1 日 1,400 円
見本！ベジプランター	農の普及を目的に、ベジプランター教室で、植付けから育て方の講義を行う予定でしたが、新型コロナウイルス拡大防止のため、中止しました。	中止
チューリップ観察プランター講習会	球根の植付けから、花が咲くまで観察が出来るプランターづくりを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。	中止
収穫野菜の調理	仏向地域ケアプラザと協働し、協働農園で収穫した野菜を使用して、料理教室を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。	中止
仏向フェスタへの参加	仏向地域ケアプラザで開催される仏向フェスタへ参加する予定でしたが、フェスタが中止となり、中止しました。	中止

仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

（事業報告書様式 12）

利用者アンケート結果

アンケート項目

１．貴方の年齢層・利用方法を教えて下さい。

①２０代　②３０代　③４０代　④５０代　⑤６０代　⑥７０代　⑦８０代以上

①　単独利用　②夫婦利用　③親子利用　④グループ利用　⑤その他

２．今年度分区園利用について、ご満足いただけましたか？該当するものに〇をして下さい。

①とても満足　②満足　③ふつう　④やや不満　⑤とても不満

３．指定管理者 横浜植木㈱の今年度の働きはいかがでしたか？

①とても良かった　②良かった　③ふつう　④悪かった　⑤とても悪かった

４．分区園の利用頻度はどのくらいでしたか？

①毎日　②３日に一回　③１週間に一回　④２週間に一回　⑤１か月に一回

５．分区園の利用時間について、季節ごとに該当する番号をご記入下さい。　春：夏：秋：冬：

①早朝（6 時～9 時）　②午前中（9 時～12 時）　③午後（12 時～15 時）　④夕方（15 時～18 時）

６．分区園のご利用目的は何ですか？

①趣味　②健康　③生きがいづくり　④お子様の食育 ⑤その他

７．分区園を通して新しく築いた関係はありましたか？　①はい　②いいえ

８．共有施設部分は利用者に日常管理をお願いしていますが、どのくらいの頻度で行いましたか？

①週一回程度　②月に一回程度　③２か月に一回程度　④３か月に一回程度　⑤していない

９．倉庫の使い勝手はいかがでしたか？　①良かった　②悪かった

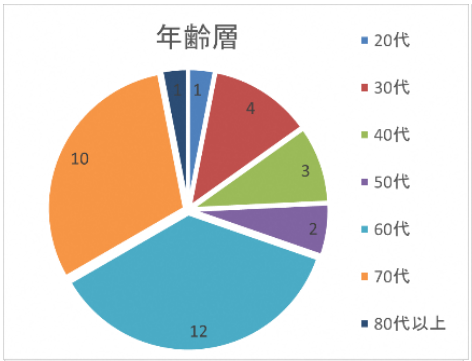
１０．９．で ②悪かった と答えた方は、その理由があれば教えてください。

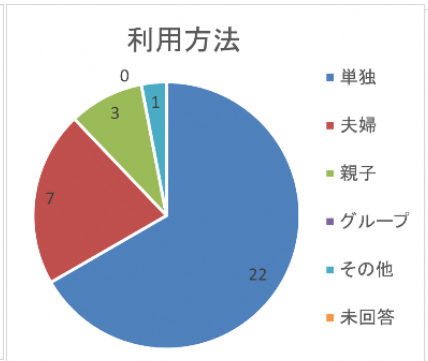
１１．分区園の利用について、何かご要望がございましたら、ご記入お願いいたします。

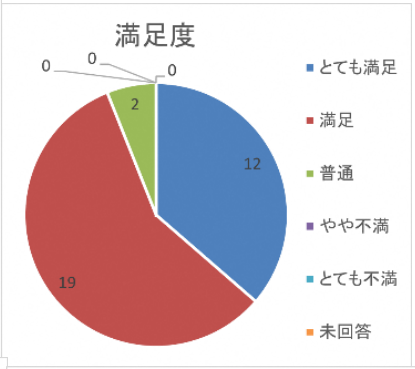
仏向原ふれあい公園　令和３年度　事業報告書

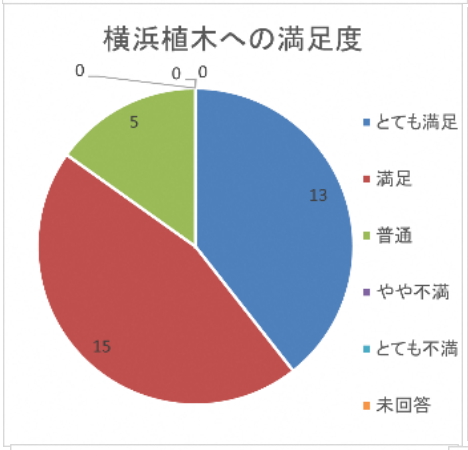
・利用者アンケート結果

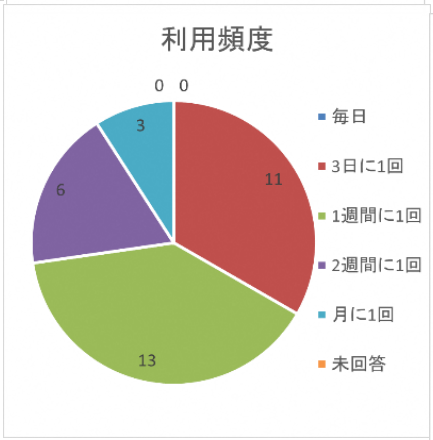
仏向原ふれあい公園分区園（全 33 枚）

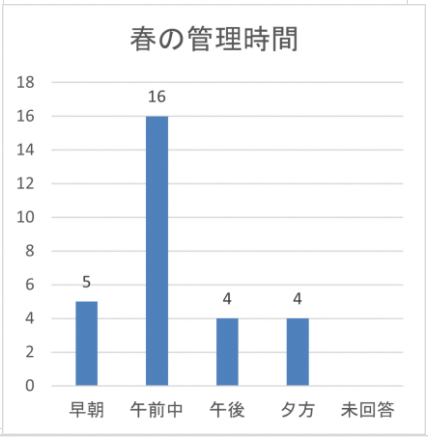


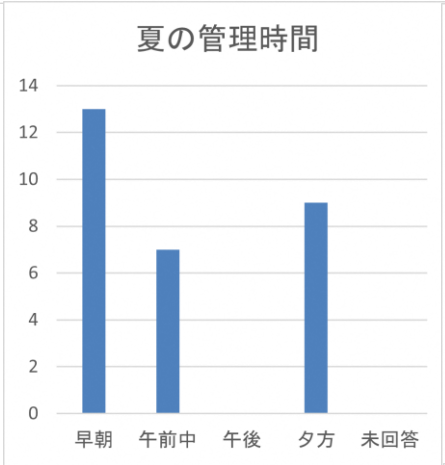


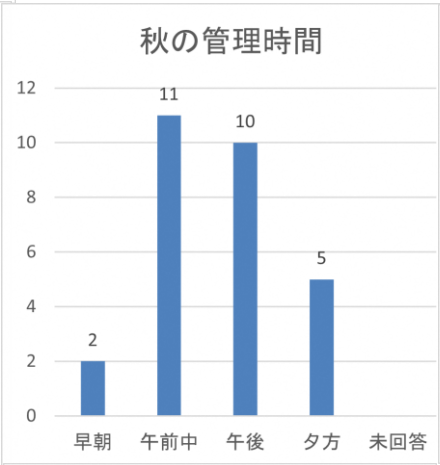


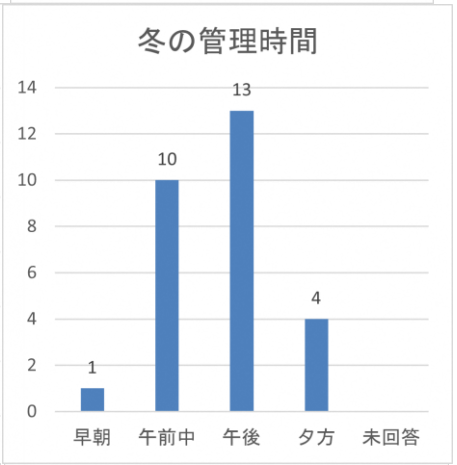


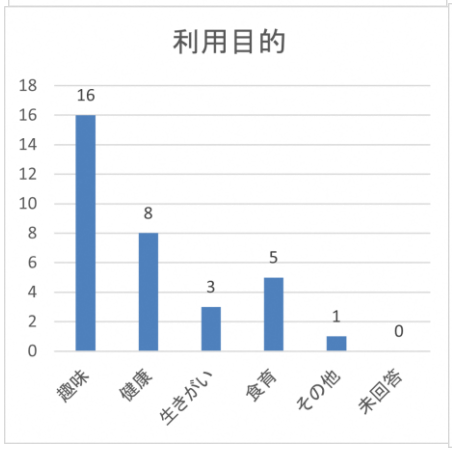


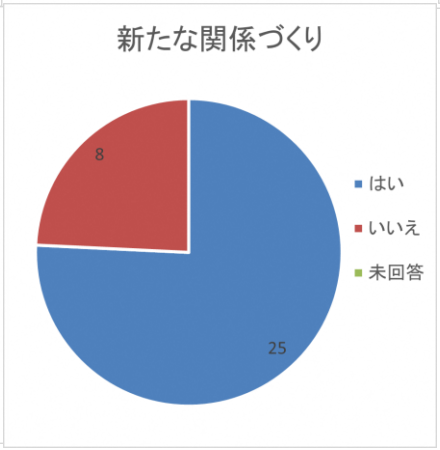


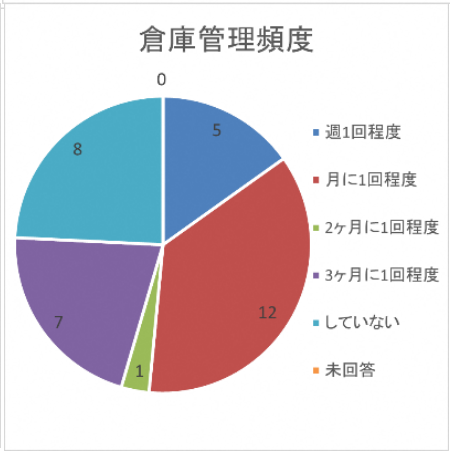












ご意見：・スタッフが気軽に声掛けをしてくれ、とても嬉しかった。
・栽培指導をしてくれて、とても楽しく野菜づくりができた。

ご要望：・倉庫前でのボール蹴りを禁止して欲しい。（畑に入ってしまうから）
・駐車場が欲しい。

アンケート結果より（総括）

利用者層は、30 代から 70 代と幅広い年齢の方に利用していただきました。
横浜植木に対しての満足度は高く、積極的な声かけやサポートの効果だと考えられます。今後も高い満足度を維持していけるよう努めます。

（事業報告書様式 13）

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	4 月 5 日	個人情報保護研修	6 名	公園業務において重要なス キル・考え方を身に着ける ための研修を実施しました。
2	4 月 5 日	接遇・障がい者対応研修	6 名	障がいをお持ちの利用者に対して、適切な配慮を行うことで、現場で起こりうるケースの対応など、柔軟な対応力を身に付けました。
3	4 月 16 日	安全運転研修	6 名	企業ドライバーとしての心構えを学びました。
4	5 月 31 日	広報研修	6 名	著作権侵害の注意すべきポイントについて学びました。Web、SNS、掲示物など各コンテンツ特有の著作権注意ポイントを学びました。
5	6 月 8 日	施設管理者向け研修	1 名	施設の安全レベル向上を目的に、施設点検時のポイントについて学びました。
6	11 月 17 日	公園施設点検研修（樹木点検）	1 名	横浜市主催の樹木点検に出席し、樹木の点検方法を学びました。
7	4月～12月 月1回開催	植栽管理技術研修（野菜作り）	6 名	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作り等について研修を行いました。
8	1 月 20 日	施設長研修	1 名	利用者・職員管理、運営、収支管理について学びました。
9	3 月 15 日	農業研修	6 名	職員の栽培技術の向上の為、土作りについて学びました。